

## 会長就任あいさつ



(財)茨城県総合健診協会

会長 山口 巖

このたび橋本前会長の後任として平成19年4月1日付で、財団法人茨城県総合健診協会会長に就任いたしました。

私と当協会との関係は、平成10年から心電図検査の研究委員を担当して8年になります。その間、他の研究委員の先生方とともに判定技術の研鑽など精度管理の向上に努めてまいりましたが、まさか自分が会長職に就くことになろうとは思いませんでした。今回、会長という大役を受け、果たすべき責任の重さと使命の大きさに決意を新たにするとともに、身の引き締まる思いであります。

さて、近年は高齢社会の進展や内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の増加などに伴い、健康への関心はますます高まりをみせています。国においては医療制度に関する様々な改革がなされ、こと健診事業に関しましては、平成20年度から生活習慣病に着目した新たな健診及び保健指導が行われるなど、大きな変革期を迎えております。

そのような中で、より効率的な運営を行うため、我々健診機関が社会から求められているものを今一度整理し、更なる組織体制の整備を図ってまいります。

今後も、職員一丸となって研鑽を積み努力を重ね、より一層皆様に信頼される健診機関を目指してまいりますので、皆様のご指導・ご支援を心からお願い申し上げます。

### プロフィール

#### 【略歴】

昭和49年7月 日本医科大学大学院医学研究科修了  
UCLA(ンダース・サイナイ・メディカルセンター・リサーチフェロー)  
平成11年1月 筑波大学教授(臨床医学系)  
平成15年4月 筑波大学附属病院長  
平成16年4月 国立大学法人筑波大学理事(兼)附属病院長  
平成19年4月 財団法人茨城県総合健診協会会長

#### 【学会活動】

日本成人病(生活習慣病)学会理事、日本不整脈学会理事、日本心不全学会理事、他関連数団体の役員を務めている。

## 会長退任あいさつ



(財)茨城県総合健診協会

前会長 橋本 昌

陽春の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、私こと、平成19年3月31日をもちまして、財団法人茨城県総合健診協会会長を退任いたしました。平成5年に就任以来、これまでの間、皆様からいただいた御協力に深く感謝申し上げます。

振り返りますとこの14年間、「県民の健康の保持増進を図り、公衆衛生の向上に寄与する」という当協会の使命を果たすべく、地区事務所（現センター）の開所、県内初の乳がんマンモグラフィ検診の導入など健診事業の拡充や、精度管理の充実、国際認証ISO9001：2000の取得など品質の向上を積極的に図ってまいりました。

一方、法改正によるがん検診の一般財源化や結核健診の見直しなど健診事業を取り巻く環境が大きく変化しており、特に平成20年度から行われる内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に着目した新たな健診及び保健指導では、より効率的かつ効果的な事業運営が求められております。このような折、新たな組織体制の検討を始めたところで職を辞するわけではございますが、幸いにも筑波大学理事・附属病院長としてご活躍されました山口巖氏にバトンタッチすることができ、当協会の発展に必ずやご尽力いただけることと存じます。

なお、私は名誉会長として引き続き当協会の発展のために尽力する所存でありますので、皆様のご指導・ご支援を心からお願い申し上げます。